

写真が上手くなりたいなら、覚えるべき50の掟

(2014年11月 玄光社刊)

風景写真の掟

01	シルキーな水の流れは、シャッター速度1/2秒で撮る	
	1	明暗差のある場所では撮影しない
	2	カメラは三脚にしっかりと固定する
	3	環境を取り入れてこそ華やかになる
02	星空の撮影は絞り開放、ISO1600の20秒を目安にする	
	1	星がノイズにまみれないISO感度を選ぶ
	2	星を点として撮す露光時間が20秒
	3	ソフトフィルターでファンタジックに写せ
03	ドラマチックなシーンは、早朝と夕暮れに狙え	
	1	朝夕の赤みをを出すならWBはくもりを選択する
	2	レンズに飛び込む光は遮光する
	3	柔らかな光で被写体を浮かび上がらせる
04	印象に残る夕日を撮るには、日没後30分は粘れ	
	1	色の濃さを意識して暗く補正し過ぎない
	2	シャッターを切り続けてチャンスを逃さない
	3	日の出前30分もフォトジェニック
05	雨の日は撮影日和。降っても止んでも被写体の宝庫	
	1	手ぶれや被写体ぶれに注意する
	2	水滴は輪郭にピントを合わせる
	3	雨の日ならではの発色を楽しめ！
06	太陽を写し込むなら、朝か夕方方が基本	
	1	大きく写すか小さく写すかを考える
	2	極端な補正で太陽の力強さを出す
	3	前景を取り入れてこそ作品になる
07	花を撮るときは”しべ”にピントを合わせる	
	1	ピントの位置を確実に合わせる
	2	被写体と背景の距離を空ける
	3	ぜひとも撮りたい水滴の中の世界
08	滝を撮るときは、止めるか流すか明確に	
	1	撮る前には光の状態を確認する
	2	絹の流れはフラットで弱い光が撮りやすい
09	被写体に困ったら、水辺に行けば何とかなる	
	1	水の流れに気をとられ過ぎない
	2	生き物を風景に加える
	3	水辺への映り込みを観察する

10	山を撮るなら雲を探せ。山だけ写してもつまらない	
	1	雲のない晴天は山の撮影には不向き
	2	露出は必ず「空」に合わせる
	3	狙うは太陽が低い時間帯
11	青空の色彩を豊かにするには、順光になる時間帯に撮影する	
	1	まずは太陽を背にして空を写す
	2	雲が多いシーンでは影に注意
	3	森の中では斜光が青空を生み出す
12	軽やかさか色の濃さか。赤の色彩は露出補正で決める	
	1	迷ったら両方の補正で撮れ
	2	繊細なディテールを維持する
	3	色温度で赤のイメージを強める
13	色濃い緑はマイナス補正。若葉の緑はプラス補正で撮る	
	1	基本はマイナス補正で濃さを出す
	2	新緑の緑はプラス補正で爽やかに
	3	逆光で新緑のイメージを高める
14	黄色のもつ透明感は、プラス補正で再現する	
	1	基本はプラス補正で明るく撮る
	2	黄色の色彩はホワイトバランスで調整

街角スナップの掟

15	奥行きのある構図が、スナップ写真に深みを生む	
	1	画面上に線を描いて奥行きを作れ
	2	自ら動いて背景との距離を稼ぐ
	3	縦位置撮影で奥行き感をさらにアップ
16	街角スナップはひとを画面に写し込め！	
	1	通行人のぶれ方を把握する
	2	横切る人影で遠近感を演出する
	3	気になる部分を見せない演出
17	シャープでカッコいい構図は、無駄のない空間から生まれる	
	1	通行人や自転車で空間を埋める
	2	ズームやアングルで構図を追い込め
	3	邪魔なものは手前の被写体で隠してしまおう
18	街に溢れる映り込みが、彩りや変化をもたらす	
	1	ショーウィンドウをスタイリッシュに撮る
	2	文字や絵柄が描かれているガラスを探す
	3	反射を見つけてイメージを膨らませる
19	ドラマチックなシーンは、日没後30分までが勝負！	
	1	夕焼けと反対の空にも着目する
	2	夕暮れの演出はホワイトバランスが要！
	3	空に明るさが残るうちに撮影する
20	形やデザインを意識して、斬新なアングルで迫れ！	
	1	意外なアングルから狙えば斬新に見える
	2	画面の四隅を意識してシンプルな構図を目指せ
	3	繰り返しの模様や線で構成されたシーンを探せ
21	見慣れた街並みは、逆光で劇的に切り取れ！	
	1	逆光を避けずに積極的に活かす
	2	奥に抜けたシーンを探せ！
	3	街並みをシルエットで見せる
22	ロー&ハイの極端なアングルが、写真の上手さを引き出す	
	1	犬や猫を撮るときはローアングルが基本
	2	雨上がりはローアングルを活かすチャンス！
	3	ハイアングルで空間をダイナミックに撮る
23	スローシャッターで静的な構図に躍動感を出す	
	1	雑踏のシーンを作品に昇華させる
	2	走り去る被写体を流して撮る
	3	動く乗り物から街並みを狙う
24	広角レンズを使いこなして臨場感と迫力を出す	
	1	被写体に迫って臨場感を高める
	2	広い画角で街角の一瞬を切り取れ
	3	縦横を上手く使いこなして空間を描写

人物写真の掟

25	ポートレートの基本はぼけ。前後をふんわりとぼかせ	
	1	背景をぼかして人物を引き立てる
	2	背景は色のあるシーンを選べ
	3	前ぼけでファンタジックなイメージに！
26	人物を撮るときは、頭は切っても首は切るな	
	1	首切り写真は絶対に避けること！
	2	左右に寄せて圧迫感を回避
	3	顔を切る大胆さも必要だ
27	ピントの位置には、守るべきセオリーがある	
	1	アップで撮るときには瞳に合わせる
	2	手前の目にピントを合わせろ
	3	顔の周囲はすっきりさせる
28	写す大きさによって、着眼点は変わってくる	
	1	低い位置からスタイルよく撮れ
	2	膝、腰、胸の切る位置を考える
	3	アップは頭を切って大胆に！
29	人物の撮影に必要なのは、空間を”間”に変える力	
	1	空きスペースに意味をもたせる
	2	横位置は”間”が重要になる
30	印象を強めたいなら、陰を活かす撮り方を！	
	1	単に陰を入れるだけではNG
	2	明暗の差を考慮する
	3	シャドウを増やして静寂を得る
31	広角レンズで撮るときは、距離感と遠近感を意識する	
	1	狭い場所で大胆に近寄れ
	2	遠近感を意識して構図を決めろ
32	ひとを観察することで、魅力に迫ることができる	
	1	作画意識はもたずに表情や動きを観察する
	2	普段とは異なるアングルを探れ
	3	身体の一部にも魅力が溢れている
33	連写を活かしてアクティブに撮れ！	
	1	連写は一拍後まで撮影する
	2	被写体を追いながら撮り続ける
34	ハイキーで演出する、目の覚めるような爽やかさ	
	1	露出オーバーと勘違いしないこと！
	2	大胆に明るくする
	3	ローキーで重厚感を出す
35	自由度の高い標準レンズは、人物撮影にも最適	
	1	適度な距離から撮りはじめる
	2	絞ることで空間ごとに撮影する
	3	絞りを開けて望遠的な効果を得る

日常写真の掟

36	雨が降ったら外に出て、情緒豊かな光景を撮りまくれ！	
	1	濡れた質感を情緒豊かに撮る
	2	雨の冷たさは4500Kで表現
	3	非日常的な光景を切り撮る
37	猫を撮影するときは、テクニックよりも距離感が重要	
	1	見上げる仕草は定番アングルのひとつ
	2	ライティングの基本は半逆光から逆光
	3	猫のいる光景を撮れ！
38	スイーツを撮るなら、逆光+間接光で写そう	
	1	カフェでは窓に向いた席をキープ
	2	和菓子やケーキはフラットな光で繊細に
	3	コンパクトデジカメを侮るな！
39	動物園に行くなら、望遠レンズは必需品	
	1	絞り開放で柵を消せ
	2	柵が消せないなら目を見せる
	3	スナップ感覚でコミュニティを撮る
40	帰宅途中でも撮影タイム。夜ならではの写真を撮れ！	
	1	ビルの展望台は映り込みに注意
	2	夜ならではの出来事に注目
	3	光の反射をモチーフにする
41	たまには雰囲気を変えて、四角い写真を写してみよう	
	1	線や形の面白さをグラフィカルに表現
	2	正方形ならではの切り取り方をマスターする
	3	構図はシンプルにまとめる
42	そのまま撮ってもつまらない。子供は”仕草”を狙え！	
	1	かわいいけど、これはつまらん！
	2	子供の小さな手を愛らしく写す
	3	一緒に影を写そう
43	子供の目線を基本に、カメラのアングルを決める	
	1	目線と同じ高さから狙うのが基本
	2	下から見上げるとなおよし！
	3	大人目線も撮り方次第
44	動きのあるシーンは、連写モードでチャンスを狙う	
	1	連写するときには最後まで撮り切る
	2	置きピンで瞬間を捉える
45	程よいぼけとアレンジ力が、小物をお洒落に写し出す	
	1	脇役の様子が分かる程度にぼかす
	2	ホワイトバランスで雰囲気を変えてみる
	3	素材やイメージを合わせる

モノクロ写真の掟

46	モノクロ写真の基本は、形を引き出す斜光で撮ること	
	1	色に惑わされずにフォルムを意識する
	2	斜光を見極めて輪郭を写し撮る
	3	影の織りなす面白さを見つける
47	中間付近の濃淡を意識して、階調感の高い写真を目指せ	
	1	明暗差の激しいシーンには要注意
	2	風景では曇天の撮影は避ける
	3	暗めを意識して中間の明るさを豊富に見せる
48	ハイライトの眩しさが、モノクロの印象を左右する	
	1	マイナス補正でハイライトを活かす
	2	明暗差で印象を引き立てる
	3	強い光でモノクロにインパクトを出す
49	白と黒の最小限の情報で、形と質感を豊かに表現する	
	1	白と黒で構成されるシーンを探す
	2	メタリックな質感を重厚に表現
	3	日陰+マイナス補正でクールに切り取る
50	モノクロ目線で被写体と向き合う	
	1	色が消えることを常に意識する
	2	街のスナップは光が回った状態で撮る
	3	フィルター効果でコントラストを探る